

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成22年7月15日(2010.7.15)

【公表番号】特表2009-540519(P2009-540519A)

【公表日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-046

【出願番号】特願2009-514946(P2009-514946)

【国際特許分類】

H 05 B 33/02 (2006.01)

H 01 L 51/50 (2006.01)

【F I】

H 05 B 33/02

H 05 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月31日(2010.5.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

照明デバイスであって、

互いに反対側の第1の表面と第2の表面を備えた少なくとも1つの連続したOLED層と、

前記OLED層の前記第1の表面に電気的に接触している第1の電極層と、

前記OLED層の前記第2の表面に電気的に接触している第2の電極層と、

少なくとも前記第2の電極層によって前記OLED層から間隔をおいて位置し、各々が受光角を備える複数の光学コリメート手段とを有し、

前記第2の電極層は、前記光学コリメート手段の前記受光角の範囲内に配置されている互いに間隔をおいた区分内で前記OLED層とのみ電気的接触状態にある、

ことを特徴とする照明デバイス。

【請求項2】

前記区分のアスペクト比は、非対称である、

請求項1記載の照明デバイス。

【請求項3】

前記OLED層と前記光学コリメート手段は、前記OLEDの前記表面に垂直な方向に互いに間隔をおいて位置している、

請求項1又は2記載の照明デバイス。

【請求項4】

前記光学コリメート手段は、複数個のレンズにより形成されている、

請求項1ないし3のいずれか1項に記載の照明デバイス。

【請求項5】

前記光学コリメート手段は、ポリマ箔から成る、

請求項1ないし4のいずれか1項に記載の照明デバイス。

【請求項6】

前記第2の電極層は、少なくとも複数の区分では連続し且つ前記区分相互間に設けられた絶縁層により前記OLED層から電気的に絶縁されている、

請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載の照明デバイス。

【請求項 7】

前記第 2 の電極層は、前記区分相互間において不連続である、

請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載の照明デバイス。

【請求項 8】

前記光学コリメート手段は、本質的に回転対称光学視準特性を示す、

請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の照明デバイス。